

## NEXT長崎人材育成事業

### 【申請者の現状・課題】

- ・本県は全国でも人口減少が進んでいる地域であり、各産業で人手不足が顕著となっており、ICT等を活用したDXや先端技術の活用等による生産性の向上等が急務となっている。
- ・半導体関連企業の進出や長崎県スタジアムシティの開業など、本県の産業構造が大きく変化していく中、地域の産業が持続し成長するためには、専門的なスキルや実践的・汎用的なスキルを持ち、課題の解決や新しい価値を創造することができる「イノベーション人材」を育成する必要がある。
- ・一部学校では企業等と連携した取組を行っているが、離島・半島地域が多い本県の地理的特性もあり、近隣地域のみでの連携や属人的なものが多く、県内の豊富な資源を活用することができておらず、広く連携体制を構築する取組が必要である。

### 【実施内容】

- ・長崎型産学連携コーディネーターとして「民間経験者、校長経験者、知事部局職員」の3名を配置することにより、高校と産業界等との連携を各分野の様々な視点と豊富な人脈により、多面的に支援し、県全体で産業界と連携する体制を構築しながら、専門高校全体の学びの充実を図る。
- ・専門高校で育成していく資質・能力の策定や支援の在り方など、専門高校全体で共通する内容等を協議する、事業運営委員会を設置する。また、分野ごとに協議会（コンソーシアム）を設置し、本県の産業教育における産学連携の基盤づくりを行い、持続的な取組を目指す。なお、将来的に事業運営委員会にて各協議会（コンソーシアム）の横断的取組・連携を推進し、イノベーション創成へとつなげる。
- ・企業の担当者と高校の教員による意見交換や学校見学を行い、産業界が求める資質・能力を明確にするとともに、教員向けの企業見学を実施し、教員が産業界の実情や先端技術等の知見を広げ、高校のカリキュラムと地域産業をつなげる取り組みを行う。

### 【目的】本事業（産業界と専門高校の連携）を通してどんな変化を目指すか

- ・本県では、これまで専門高校と産業界のつながりが人材確保や就職先確保といった出口の連携が主であったが、産業界等と専門高校の連携協定を締結し、連携体制を構築しながら、産業実務家教員による体系的・実践的な授業を導入等を通して、産業教育の「学びの連携の充実」を図る。
- ・産業界が求める資質・能力を明確にし、高校のカリキュラムと地域産業の課題をつなげた「学びの連携」を図ることにより、地域産業で活躍したいというふるさと意識の醸成と、持続可能な地域産業へとイノベーションを実現できるNEXT長崎人材を育成する。
- ・これまで産業別に行っていた人材育成について、事業運営委員会等を通じて横断的人材育成へと発展させることで、分野を横断した一体的な人材育成を図る。

# NEXT長崎人材育成事業

## 実施体制等の構成

### 事業運営委員会

【構成員】  
 商工・業界団体、民間企業、金融機関、大学  
 県教育委員会、各高校、知事部局の関係部局

【協議内容】  
 ・各分野における産業界と専門高校の連携体制の在り方  
 ・専門高校における人材育成の在り方  
 ・分野を横断した連携の在り方 など

各分野の連携体制構築

各分野の横断的取組・連携推進

各産業分野で専門高校と産業界が連携するための協議会（コンソーシアム）を設置  
 【事業運営委員会で決定した方針等を基に分野別の連携体制を構築】

農業

工業

商業

情報

水産

福祉

企業の担当者と高校の教員による定期的な意見交換や学校見学を行うなど、「学びの連携」に向けて協議

【内容】  
 スマート農業など  
 先端技術の学びの  
 連携 等

連携先：JA中央会

【内容】  
 半導体製造技術など  
 半導体スキルの学び  
 の連携 等

連携先：ながさき  
半導体ネットワーク

【内容】  
 観光DXやマネジメ  
 ントの学びの連携  
 等

連携先：長崎商工  
会議所連合会

【内容】  
 実践的な情報技術  
 の学びの連携 等

連携先：（一社）  
長崎県情報産業協会

【内容】  
 スマート水産業や  
 加工品製造などの  
 学びの連携 等

連携先：長崎県漁業  
協同組合連合会

【内容】  
 介護テクノロジー  
 など先端技術の学び  
 の連携 等

連携先：長崎県社会  
福祉協議会

産学連携コーディネーター、高校教育課の各産業担当指導主事、知事部局の関係部局がマッチングや各取組を支援